

8月議会で質問した主なものを報告します。事前調査を充分行い、多くの方の意見反映に努めました。

(一般質問、常任委員会、決算特別委員会の質疑より)

## 庁舎建て替えか？ 市民はカヤの外

市庁舎の耐震診断が昨年度行われ、安全指数を下回るという結果が出て、現在、庁内で「補強工事で済ませるか、新しく建て替えるか」の検討がされています。市民ネットは常任委員会や決算委員会で質疑、情報公開で資料を入手。以下の問題点が明らかに！

### 【問題点】

- ①耐震診断を請負ったのは、庁舎を設計した有名なK事務所。自分が作ったものを自分が診断するのでは、数値の信ぴょう性に疑問が残る。
- ②K事務所とは随意契約(入札を行わない1社だけの契約)。競争原理が働かず委託料は言い値に近い？ 業務委託料→ **3380万円**
- ③庁内検討会は4月～5月に4回開催。議事録を読むと、「補強改修より建て替えを」という声が強し。11月の予算要求時期までに結論を出すとしており、**市民の声を聞く姿勢はなし**。
- ④6月からは庁内ワーキンググループ会議に移行。議事録なし！

「検討事項」には「今後の市庁舎はどのようなものであるべきか、市民の庁舎利用の観点から検討」とあるのに、市民を全く協議に入れない！

\* \* \* \* \*

3.11を機に市庁舎建替えの話が各地で起きています。(千葉市、習志野市、市川市、市原市、浦安市等)

佐倉市は建て替えが必要ならば、なぜ市民を議論の場に入れないのでしょうか？ 本当に市民にとって安全で使いやすい市役所になるためにも、秘密会議は論外！ 市民参画を強く主張していきます。

## 学童保育料が値上げに！

現在、市内23の小学校すべてに学童保育所が設置され、入所児童は1,071人。市内低学年の児童の5人に1人が利用しています。

公立学童保育所の保育料値上げが賛成多数で決まりました。

現在 月額 6,000円

改正後 月額 7,000円 + 延長料金 + 8月加算

民間と公立の保育料を同額にするためとのことですが、8月は最大で1万2千円になるなど、保護者にとって大変な負担になり、利用控えも危惧されます。

市は値上げについて事前に保護者の声を全く聞くこともなく、委員会の答申だけで決定しました。

今回の値上げは、今後「指定管理者制度」へスムーズに移行するための布石ともとれます。公立学童はどこも手狭で課題が一杯。それらを解決しないまま、値上げや指定管理者導入とは、「子どもの健やかな成長よりも、財政が優先」ですか、わらび市長？



## 食品の放射能測定データは全て公表を



佐倉市では約1千万円かけて食品放射能測定器を2台購入し、4月から給食や販売用農産物等の測定を行い、結果を公表しています。しかし、市民が持ち込む自家製の野菜や、土壌は測定後、本人以外に結果は公表されていません。

佐倉市全体の汚染状況を知るためにも、全ての数値の公表をするべきと議会で何度も迫りましたが、万が一高い数値が出て、風評被害が広がることを市は懸念し、いまだ公表されていません。

しかし、隠すことが逆に不安をあおります。「ここは数値が高い、ここは低い」と、全てのデータを公表することで、市民が自主的に判断できます。

「正しく怖がる」ことが、大切ではないでしょうか。

## モロトリアム法を覚えてますか？

正式名は「中小企業金融円滑化法」。3年前当時の亀井静香金融担当相が成立させ、中小企業から返済猶予や金利の引き下げを求められた場合、金融機関はそれに応じなければならないという制度です。

来年3月で期限が切れるので、中小企業の倒産が佐倉市内でも増えるのではないかと、議会で質問。この制度を利用した企業がレッテルを貼られて、貸し渋りをされてしまわないかも心配です。

消費税増税を価格に転嫁できない中小企業も多く、今後ますます細やかな支援策が必要です。



### 佐倉にあった！ 縦型風車

通信104号でお伝えした小型の縦型風車を小篠塚で見つけました。羽根は、発泡スチロール製。丈夫で軽い優れ物。

元技師の方が作ったこの風車。12年間の実証実験後、今は引退。貴重なデータは国内各地で利用されているとか。これは1kw/hの発電能力ですが、4kw/hに製品化した場合、製作費はなんと150万円！ 太陽光発電より安く、畑や庭に設置できます。低周波とも無縁。3メートルの風で動くので、佐倉にぴったりですね。

【お知らせ】 お気軽にお越しください。

### ◆ドイツ・デンマークの自然エネルギー視察報告会

10月15日午後1時半から。ネット事務所。無料。スライドで楽しい報告会。写真展も10月1日～31日ネット事務所で開催。